様式４

平成30年9月25日

平成30年度　　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）

広南中学校区　校番　２　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○前年度の本委員会で示した課題（生徒の返事や発言の声が小さい）に対応した目標を設定している。 ○指標についても，生徒や教師のアンケート結果と生徒の姿の両面を見ながら設定している。
目標達成のための方策の適切さ	A	○１学期の方策や2学期以降の方策についても適切である。 ○目的（課題）に応じたタイムリーな指導を行っている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○生徒アンケート，保護者アンケート，教職員アンケートと三者の評価を集め，適切に結果を把握し，分析している。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○１学期の取組の成果と課題を整理し，重点化した具体的な改善を望んでいる。
その他	＜授業参観を通して＞ ○前回の課題であった，生徒の返事や発言の大きさは改善されてきている。 ○タブレットを活用しながら，興味や関心を高め，スムーズに学ぶことができている。 ○英語の発音など，ICTを活用しながら効果的に学習している。 ●ペアやグループを活用しながら，交流する場面もあった。今後も協働しながら学習する場が増えるとよい。 ●指導者の説明が早口になる傾向がある。 ＜全体を通して＞ ○ICTを効果的に活用しながら，分かりやすい授業づくりを行っている。 ○一問一答の授業展開については，以前より改善されてきている。 ○地域とともに教育活動を展開している。 ●アンケート結果からも生徒の読書習慣に課題がある。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	①タブレットの活用について（呉市タブレットモデル校）【ICTの活用】 （1）目的応じた効果的な活用 （2）各教科，総合的な学習の時間，道徳，特別活動など幅広く活用 ②授業改善について【ことば磨き】 （1）生徒同士で意見をつなげる授業づくり （2）授業者の話すスピードをゆっくりはっきり話し，ことばを精選 ③生徒の読書習慣について （1）情報収集，課題解決をしていく情報センターとしての図書室の環境整備 （2）生徒会を中心とした読書習慣の啓発